

本書（初版第 1 刷）におきまして下記の誤りがありましたので、お詫びするとともに訂正いたします。

Section 2-2 P.31 本文上から 2 行目

誤：12 \* 5 結果  
正：12 \* 5 の結果

Section 3-2 P.51

最後の round() を使った四捨五入についての説明を次の様に改めます。  
修正後：

小数点以下の数値を丸めるには round() を使います。これは四捨五入とは少し異なります。たとえば、2.5 に近い整数は 2 または 3 ですが、どちらも 0.5 の差なので、round(2.5) では偶数の 2 に丸めます。2.6 は 3 に近いので 3 に丸めます。

【Python インタプリタ】小数点以下を丸めた整数にする

```
>>> round(1.4)
1
>>> round(2.5)
2
>>> round(2.6)
3
```

round(数値, 桁) の書式で丸める桁を指定することもできます。

【Python インタプリタ】小数点以下 1 位に丸める

```
>>> round(23.574, 1)
23.6
```

Section 3.2 P.55 2 つめの Python インタプリタ 3 行目

誤：'いわゆる "人工知能" です。'  
正：いわゆる "人工知能" です。

Section 3-2

P.55 本文下から 3 行目、P.56 エスケープシーケンスの表の中

誤：バックシュラッシュ  
正：バックスラッシュ

Section 3-2 P.57 2 つ目のコード

誤：c = "Appple"  
正：c = "Apple"

誤：'PenPineAppple'  
正：'PenPineApple'

Section 3-2 P.65 本文 4 行目

誤：、反転（NOT）では、2 つの値の桁目同士を演算します。  
正：では 2 つの値の桁目同士を演算します。反転（NOT）では各ビットの 1、0 を反転します。

Section 4-1 P.75 表の round(数値, 桁数) の説明

次の様に変更します。  
説明:数値を指定の桁数に丸める。桁数を省略すると整数に丸める。なお、切り上げ、切り捨ての差が同じ場合は偶数側に丸める（例：2.5 は 2 になる）。

Section 4-1 P.75 最後の round() を使った四捨五入についての説明

次の様に改めます。  
修正後：  
次は数値を丸める round() を試した例です。最初の例は桁数を省略しているため、小数点以下が丸められて整数になります。

【Python インタプリタ】 round() を使って数値を整数に丸める

```
>>> round(3.65)
4
```

次のコードでは桁数を指定して小数点以下 1 位に丸めています。一般的な四捨五入では 3.7 になるところですが、3.6 も 3.7 も 3.65 との差は 0.05 と同じなので、偶数側の 3.6 に丸められます。

【Python インタプリタ】 桁を指定して数値を丸める

```
>>> round(3.65, 1)
3.6
```

Section 4-1 P.77 表の 3 行目

誤：print( 値, step= 文字列)  
正：print( 値, sep= 文字列)

Section 4-2 P.81 表の 1 行目

誤：逆余接  
正：逆余弦

Section 4-4 P.92 本文 2 行目に挿入

誤：定できます。なお、  
正：定できます。値は表示桁数に合わせて丸められます。なお、

Section 4-4 P.93 サンプルコードの 5 行目

誤： 1 23.4  
正： 123.4 (1 と 2 の間に空白が入りません)

Section 5-1 P.108 最後の実行例の実行ファイル名 3 箇所

誤：odd\_even\_2.py  
正：odd\_even.py

Section 5-3 P.116 2 番目の実行例の 1 行目に次のコードを挿入

```
$ python while_break_input.py
```

Section 5-3 P.124 最初の実行例の 1 行目に次のコードを挿入

```
$ python for_nesting.py
```

最後の実行例のタイトルとコード

誤：実行する Z  
正：実行する

1 行目に次のコードを挿入

```
$ python for_nesting_xy.py
```

Section 5-3 P.125 本文下から 3 行目

誤：(文字列はスキップする☞ P.128)  
正：(数値ではないときスキップする☞ P.127)

Section 5-3 P.129 1 行目、サンプルコードタイトル

誤：ネスティングス  
正：ネスティング

Section 5-4 P.134 実行例の 1 行目に次のコードを挿入

```
$ python try_except.py
```

Section 6-1 P.152 本文 4 行目

誤：FIFO (First In First Out)  
正：LIFO (Last In First Out)

Section 6-1 P.154 2 個目の実行例

誤：list\_pop\_empty.py  
正：list\_pop\_emptylist.py

Section 6-4 P.175 本文下から 4 行目

誤：内表記  
正：内包表記

Section 6-4 P.180 最初のコードの最後の行

誤：実行結果は合格です。  
正：「実行結果は合格です。」の部分はコードでないので削除してください。この行はコードではなく解説となります。

Section 8-1 P.196 本文下から 3 行目

誤：0 ~ 20 の  
正：0 ~ 19 の  
最後のコードのコメント文  
誤：# 20 までの  
正：# 0 ~ 19 の

Section 8-2 P.210 最初のコード内の説明文

誤：同じなので True  
正：同じなので False

Section 8-2 P.211 最初の図の説明文

誤：True になります  
正：False になります

P.211 本文の最後の行

誤：場合に True にも  
正：場合にも True に

Section 9-1 P.214 本文の最後の行

誤：points  
正：point

Section 9-1 P.219 本文 2 行目

誤：路線を追加  
正：要素を追加

Section 9-1 P.220 [書式] 辞書内包表記

誤：イテレータ  
正：イテラブル

Section 9-2 P.224 本文 1 行目

誤：指定する値が  
正：指定すると値が

Section 9-2 P.225 本文の最後の行

誤：イテレータ  
正：イテラブル

Section 9-2 P.228 最初の実行例の 1 行目に次のコードを挿入

```
$ python dict_pop.py
```

Section 10-1 P.235 真ん中の本文 2 行目

誤：0 マイルが何メートルか  
正：20 マイルが何メートルか

Section 11-2 P.263 本文下から 3 行目

誤：余所  
正：要素

Section 12-1 P.276 本文下から 2 行目、3 行目

誤：\_\_int\_\_  
正：\_\_init\_\_

Section 12-1 P.279 下から 2 行目

誤：mileage の値は drive() で更新していますが、  
正：トルツメ (削除します)

Section 12-1 P.280 本文下から 1 行目

誤：mielage  
正：mileage

誤：dirve()  
正：drive()

Section 12-1 P.281 本文 1 行目

誤：drivr()  
正：drive()

Section 12-1 P.281 3 行目

誤：Car1 クラス  
正：Car クラス

Section 12-1 P.282 下から 2 行目

誤：number  
正：count

Section 12-1 P.287 2 つ目のコードの 1 行目の前に挿入

```
obj1 = Simple()  
obj2 = Simple()
```

Section 12-3 P.294 サンプルファイル名

誤：super.py  
正：super2.py

Section 12-3 P.297 [書式] プロパティの定義の最後 2 行

次の様に変更します。  
引数 value から設定値を決める  
self. 変数 = 値

Section 12-3 P.297 下から 3 行目

誤：peice プロパティ  
正：price プロパティ

Section 12-3 P.298、P.299 の本文、コメント文

誤：\_data 辞書  
正：\_\_data 辞書 (アンダースコアが 2 個です)

Section 12-3 P.298 の最終行のコード (不要な空白)

誤：value ):  
正：value):

Section 14-1 P.318 本文下から 6 行目

誤：matplotlib.pyplot の別名  
正：plt の別名

Section 15-3 P.370 本文下から 1 行目

誤：リストで返します  
正：配列で返します

Section 16-1 P.383 上の図

誤：学習データと訓練データとテストデータに分けます。  
正：学習データを訓練データとテストデータに分けます。